

喜寿記念同期会に出席して

吉池文男（1組）

受付を済ませテーブルに着くと、そこは1組と6組の仲間であった。1年生の時、1組の10人が何故か6組と1年間一緒に授業を受けた。幹事の6組布施修一郎君と1組吉田一雄君もそうであったので、気をきかせて配置してくれたのだろう。隣の席の6組笹沢政利君は中学3年間同じクラス。中学時代の同級生の動向などに花が咲く。1組の隣は柳澤賢次君、北澤光二君、そして竹下通廣君。竹下君とは勤務していた塩田中学の校長先生の葬儀で隣家ということで同席したので、校長先生の家族の状況などを聞いた。

1組の紅一点の参加者岩崎（桜井）ひとみさんには1度聞いてみたいことがあった。私が長野市で所属している男声合唱団ZENで歌った曲の中に「牛久のはての山なみから一段高くはるか黒富士」という詩があり、牛久にお住いの岩崎さんに「あの茨城の牛久から富士山が見えるのか」と。彼女から「見えますよ」と聞き納得した。

合唱という同級のグリークラブで一緒だった工藤良一君。昨年亡くなる直前電話があった。「おれ、病気でOB演奏会聴きに行かれない」と。間もなく訃報を聞いた。今回黙祷をささげた一人になってしまった。

クラスごとに自己紹介があった。7組の滝沢博俊君は小学校6年間同級で中高と一緒に通った親友。彼は上小のハーモニカ演奏の指導者、つまり大先生である。音楽仲間でお互いの演奏会に行く。彼と話している時に他のクラスの自己紹介があり、「あの彼女、小学校の時に同級でその後転居した旧姓小林啓子さん（現姓増澤、4組）ではないか」「そうだよ。近くに住んでいるから呼んでみるよ」。高校の時はクラスも違い、話したこともなくて気づかなかった。久しぶりに会う感じ。「私、博俊さんや文男さんと同級の啓子です。文男さんのこともよく覚えてますよ」と。何やらうれしい。

私は現在、上田高校吹奏楽団OBOG会「松奏会」の事務局長をしている。この日も牧野泉（9組）、折井正博（5組）、布施、私と4人が出席。昨年サントミューゼ大ホールにOBOG100人が出演し、会長百瀬和紀さん（58期）の指揮のもとに第10回記念演奏会を開催した。私と布施君も最高齢として演奏参加した。関東からもずっと参加している榎本美智子さん（72期）をはじめプロ、アマ問わず多くのOBOGが参加した。関東同窓会とはOBの桑原邦寿君（69期）に橋渡しをしてもらって様々な応援をいただいている。

去年は松尾倶楽部（近藤正昭代表幹事：69期）の皆様にもバスを仕立てて演奏会に駆けつけていただいた。

今年は9月28日（日）13：00から、材木町の上田文化会館で「第11回吹奏楽を楽しむ会」を開催する。OBOGは演奏参加を、同窓生は聴きにおいでください。

（2025年7月24日記）

次ページに写真



1組登壇、右から吉田、吉池（筆者）、北澤、柳澤、竹下、岩崎、島田

以上